

キラキラ

…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:64 平成19年8月15日

つぶやきサロン

残暑お見舞い申し上げます。

STEP・北九州代表 田中 美穂

2007年、夏が来た。

8月に入り、やっと全国的に梅雨明け？！

ここのところ何かにつけ「例年になく」と言っている気がしませんか？

例年はいつまでで終わったのでしょうか？

ずっと変わらないように思っていたものが、ここへ来て

一気に変わり始めた気がします。

自然も、社会も、人間も。

それは人間自身もたらした変化には違いありません。

人間の生命維持活動の産物とも言うべき、素晴らしくも愚かしき現実です。

見せかけの豊かさや過度の快適さを無用という意味と、分かち合う知恵が問われる時が来たという気がします。

どんなものにも代えがたい、失ってはいけないものがあるはずですね。

自然環境の崩壊と同じスピードで心の荒廃が進んでいます。

今ほど心が育ちにくい時代はないと思いませんか？

どんな時代も子どものはしゃぎ声や、若者の成長する姿が希望そのものです。

子どもや若者達を犠牲にして栄える国は無いと言われます。

心を伝える工夫を、心を育てる力を失ってははいけませんよね。

迷いながらしたたかに、悩みながらしなやかに…

出会った人同士がそのご縁を大切に今を生きる知恵を分かち合いましょう。

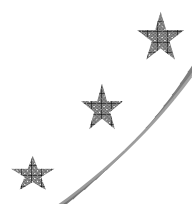
袖すり合うも多生の縁パワーメント「STEP・北九州」の由来です。

心がちょっと疲れた時、誰かとおしゃべりしたい時には

「やわらかカフェ」でお茶でもどうぞ。



チャリティーバザーの風景です。



「やわらかカフェ」で待っています

事務局 八幡東区上本町1丁目1-25

TEL: 093-662-7717

(火・金11時~17時)

第69回・サポートセンターの日/2007・7・25

…「健康で豊かな生活を送るために」というテーマで2団体にお話をいただきました…



【発表者】

(右)
野口真理子さん
(左)
大石照志さん

女性ヘルプネットワーク 代表 野口 真理子さん

1994年、国連主催の国際人口開発会議（カイロ会議）の国際文書に「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）」という言葉が初めて明記されました。この「性と生殖の権利」を人権の一つの考え方として普及させたいと、1995年4月に「女性と健康北九州ネットワーク」（現「女性ヘルプネットワーク」）を設立しました。

当初は、研究会などを開いていましたが、性の権利を侵害される性被害や、パートナーと避妊について話すことさえできない女性たちが存在しているのが現状でした。

そこで、研究や啓発よりも、女性の個の確立のための活動を必要と感じ、女性が抱えやすい「身体や心」の相談や、様々な問題を抱えた女性の居場所作りとしての「自助グループ」の支援を始めました。

「なのはな相談室」は、女性の視点に立つカウンセリングと福祉などの相談を受けています。また裁判所や警察への同行もしています。

「ひだまり」や「ひなたぼっこ」、「ひととき」は性被害体験のある女性、アダルトチルドレン（子ども時代を子どもとして子どもらしく過ごすことが出来ず、そのまま大人になった人たち）や生きづらさを抱える女性、更年期や婦人科疾患で悩む女性のための自助グループです。これらの活動を「自助グループ活動を行う女性たちの意識と実態調査」としてまとめ、出版しました。

また、DV被害女性のためのサポートクラブ「ひろば」も開設し、2004年11月～2005年10月までの1年間、フリーコールによる全国共通DVホットラインに参加しました。

このほか、自分を大切にできるグループトレーニングや講座を開いたり、講師の派遣も行っています。

このような多くの活動実績が、北九州で活動している民間グループとして、テレビやラジオ、20冊近くの本に取り上げられました。

今後も女性が自分らしく生きるための支援活動を続けていきたいと思っています。

特定非営利活動法人 地域予防医学健康促進センター 副理事長・センター長 大石 照志さん

50年前の病気といえば、うつる病気（伝染病）がほとんどでしたが、西洋医学の発達により大方解決されました。さらに今では救急・救命医療の技術もとても進んでいます。それなのに、病気にかかる人の数は減っていません。

私たち現代人は、自らが原因を作る病気に悩まされている場合が多くあります。いわゆる生活習慣病です。これは薬では中々治りません。これらの病気は、知識を持ち、意識を持てば未然に防げる病気なのです。

病気になってしまってからではなく、病気になる前に意識を持つためには、まず知識を持つ事です。

例えば、食生活一つ取っても、現代の私たちは、無意識に生活を送ると年間4キロもの添加物を体内に入れることとなります。一生涯では、ドラム缶1個分の量に相当します。この事を知らなければ、今のままの生活を送りますが、知っていれば、食べ物に対する意識を持ち、余分な添加物を取り込まないように努力するでしょう。そうすることで、現代の病気はある程度防げます。

しかし、知識が無い為に意識を持たなかったり、関心があっても身に付かない場合が多いのです。

当法人では、今を生きる現代人に予防医学と健康に対する意識を持って頂こうと、広く一般市民に対し、ドクターや専門家による講演会等、予防医学と健康に関する事業を行い、健康で豊かな社会の基礎作りに寄与することを目的としています。

これからも健康維持、健康管理をするために予防医学を促進し、少しでも多くの方が健康で豊かな生活を楽しめるように活動をしていきたいと思っています。

**第1回NPO連絡協議会
～先進の地『仙台』に学ぶ～**

NPOの4大悩みである、資金、人材確保、広報、組織をNPO自身のネットワークで解決する連絡協議会です。まずは仲良くなりましょう！！

- コーディネーター：特定非営利活動法人 NPO ふくおか理事長 濱砂圭子
- 日時：9月11日（火）19：00～21：00
- 場所：福岡市NPO・ボランティア交流センター（あずみん）セミナールーム
- 定員：40名（先着順受付）
- 対象：NPO・ボランティア団体関係者
- 参加費：1,000円/団体（1団体2名まで）
NPOふくおか会員無料
- 申込：団体名、氏名、連絡先を下記まで
- 主催：特定非営利活動法人NPOふくおか
TEL&FAX：092-732-5057
E-mail info@npohukuoka.com

チェルノブイリ・チャリティライブ2007

北九州市を拠点に活動するバンドメンバーによるチャリティライブです。収益はチェルノブイリ原発事故被災者への医療支援に当てます。音楽を聴いて楽しむことで、国際協力できるチャンスです。

- 日時：11月24日（土）
17：00～20：00（開場16：30）
- 会場：子どもホール
COMCITY7階「子どもの館」内
- 入場料：1,000円 ○定員：250名
- 主催：チェルノブイリ・チャリティライブ
2007実行委員会
TEL&FAX：093-203-5282
E-mail：jimu@cher9.to

助成金

**★財団法人大和証券福祉財団
第14回ボランティア活動助成**

ボランティア活動を目的とした団体・グループ・学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します。特に在宅老人、障害児・者、児童問題等にたいするボランティア活動。

（※申込に際しては社会福祉協議会・共同募金等の推薦を受けてください）

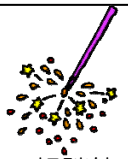
- ★1件当たり：30万円を上限とする。総額5,000万円（内、500万は災害時ボランティア活動に対する助成）
- ★締め切り：9月15日（土）当日消印有効
- ★財団法人 大和証券福祉財団
〒103-8219 東京都中央区日本橋茅場町
1-1-9 大和証券兜町ビル
TEL：03-3665-5147
FAX：03-3662-0495

**スペシャルオリンピックス日本・福岡
～第1回地区大会2007ボランティア募集～**

知的発達障がいのある人々のスポーツ競技会を開催します。この大会をサポートして頂けるボランティアを募集します。

- 活動日時：11月10日（土）～11日（日）
- 活動場所：グローバルアリーナ及び宗像市内各会場
- 募集人員：400名
- 内容：会場設営・整備、記録、競技補助など。
- オリエンテーション：9月9日（日）
13：30～15：30宗像市中央公民館
- 締切：9月9日（日）
- 問い合わせ：スペシャルオリンピックス日本・福岡
TEL：092-741-0799
FAX：092-741-0065
E-mail info@son-fukuoka.gr.jp
<http://son-fukuoka.gr.jp/>

**黄金まちNPOステーション
～無料相談会～**



★NPO法人北九州後見支援センター

- 相談内容：遺言、相続、成年後見、暮らしの相談他
- 日時：毎週土曜日（13：00～15：00）
- 相談員：NPO法人北九州後見支援センター会員

★NPO法人北九州まなび場

- 相談内容：子育て
- 日時：毎週火・木曜日（11：00～16：00）
- 相談員：NPO法人北九州まなび場会員

※場所はいずれも黄金まちNPOステーション内
（北九州市小倉北区黄金1-1-27）

《お問合せ・連絡先》

黄金まちNPOステーション運営委員会
TEL&FAX：093-980-9500

★市民青少年交流助成プログラム

国際文化交流を通じた相互理解促進と市民青少年交流の担い手拡充のため、市民・青少年が主体となった国際交流事業に助成します。

★助成対象事業：

(1)文化分野における市民・青少年レベルの国際相互理解の促進を目的として、日本国内または海外で実施されるもの

(2)市民青少年交流の担い手の拡充と、ネットワークの構築により交流のさらなる発展につながるもの

- ★助成金額：助成上限額は200万円
- ★提出締切：第3回募集9月3日（月）必着
- ★独立行政法人国際交流基金

文化事業部 市民青少年交流課
〒107-6021 東京都港区赤坂1-12-32
アーク森ビル20階

TEL：03-5562-3532
FAX：03-5562-3505

http://www.jpof.go.jp/j/about_j/program_j/index.html

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年6月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	30,519	29,321	293
【福岡県】	1,074	1,026	1
内閣府	2,771	2,534	107
全国計	33,290	31,855	400

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年7月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	223	220	—



7月に認証されたNPO法人

NPO法人やすらぎ
(7月3日認証)

<主な活動分野>
保健、医療、福祉の増進

特定非営利活動法人
空き缶基金
(7月3日認証)

<主な活動分野>
環境の保全

特定非営利活動法人マンシ
ョン付加価値創造研究協会
(7月20日認証)

<主な活動分野>
まちづくりの推進
環境の保全



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp



市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応 …月～土曜日 17:00～21:00
日曜・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー …パーティションで仕切った無料の会議室。
※要予約

◆掲示板スペース …団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◇利用時間◇ 月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】 8月30日(木)・9月27日(木)

編集後記

小学校の読み聞かせボランティアを始めて5年になります。週1回、朝のほんの15分間、子ども達と楽しい絵本の世界を共有しています。今の私にできるささやかなボランティアですが、子ども達のキラキラした瞳やちょっとした反応に、時に癒され、時に元気をもらい…実は私自身が一番楽しんでいるのかも知れません。今は夏休みで活動は小休止。楽しい絵本をたくさん探して、新学期に子ども達に会うのが楽しみです☆

by 〇〇〇〇